

与野南小だより

7月号 令和5年7月3日発行 第4号

さいたま市立与野南小学校 【児童数】計336名
電話 831-0157

学校ホームページ

素敵な本との出会いを大切に

校長 土屋 智樹

6月2日(金)から12日(月)までの5日間、個人面談を実施しました。保護者の皆様と担任とで、お子様の学校や家庭での様子を情報交換することができ、とても有意義な時間となりました。保護者の皆様から頂いた御意見やお子様に関する情報を今後の教育活動に生かしていきたいと考えております。御協力ありがとうございました。

さて、6月19日(月)から23日(金)の1週間、各学級の図書の時間を活用して、図書ボランティアさんによる読み聞かせ週間を実施しました。子どもたちの絵本に対する興味・関心は様々です。どの子どもたちも「面白かったなあ」と満足してくれる絵本を選ぶのは大変かと思いますが、ボランティアの方は一生懸命本を選び、お話のイメージを描きながら読んでくださりました。子どもたちは、空想を膨らませながら最後まで楽しくお話を聞いていました。子どもたちは本来、お話を聞いたり、本を読んでもらうことが大好きです。そのため、読み聞かせが、読書に興味を持ってもらう一番の近道だと思います。今後も、読み聞かせ活動を継続し、子どもたちの読書に対する興味関心を高めていきたいと考えております。図書ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

ところで、私の小学生時代と言え、読み聞かせの活動はありませんでしたが、小学校の中学年の時の担任の先生が、本の紹介文作りや絵本作りの活動に熱心な先生でした。その先生の影響もあって、読書に興味を持つようになりました。今でもはっきりと覚えています。3年生の時に、最初に読んだ長編の本が、「牛若丸」という伝記本でした。牛若丸(源義経の幼少期の名前)こと、源義経という人物の生涯について描かれた本でした。牛若丸と弁慶の五条大橋での対決や源平合戦での活躍、特に印象が残っているのは、壇ノ浦の戦いの八艘とびの場面でした。本を読み進めるにつれ、どんどんと本の世界に引き込まれ、「義経はすごいなあ」と心が躍り、読み終わった後も感動にふけていました。長編の本を最後まで読んだことが自信となり、それがきっかけで、歴史に興味を持つようになりました。「織田信長」や「徳川家康」などといった伝記本や歴史ものの本をよく読むようになり、読書量と比例するように歴史に関する知識もどんどん増えていったように思います。読書が苦手な人も「ああ、面白かったなあ」と思える素敵な本に出会えるといいと思います。そのために、まずは、興味のあるような本を手にとってもらうところから始めてみてはいかがでしょうか。

あと3週間で夏休みとなりますが、読書活動にじっくりと取り組む良い機会となります。読書活動の推進のため、御家庭でも本を読みやすい環境づくりに御協力をよろしく申し上げます。



図書館の様子